



やさしい手のひら



いしおかブロック保育研究委員会

一部抜粋

アンケートの結果から、今月は、子育て悩みランキング3位の『言うことを聞かない』についての、アドバイスをご紹介しますと思います。



「怒る」と「叱る」はちがいます

怒るとは・・・

- ◎感情のはげぐちにして、すっきりする。
- ◎子どもを思い通りにコントロールして、自分が安心する。
- ◎うまくいかない原因を子どものせいにする。

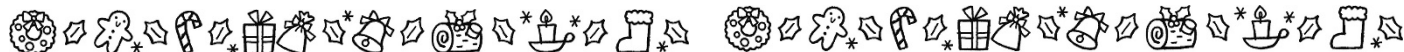


頭では分かっているのに忙しかったり、体調が悪かったりすると、イライラしたり、つい怒ってしまいますよね。怒ってしまったあと、そんな自分に落ち込むというご意見もいただきました。「イライラする」「怒る」というのは、それだけ子どもに関わっている証拠だと思います。関わりのないところには、そのような現象は起きません。一生懸命向き合っている証拠です！

子どものために「叱る」事は必要です。

叱るとは・・・

- ◎子どもが社会で生きていくための「ルール」を教える。
- ◎子どもの成長を願い、大切なことを伝える。
- ◎子どもに自分で考え、行動する力をつけてもらう。



でも・・・どうすれば良いの？！
お母さんも私たち保育士もポイントは同じ！



叱る時は…**子どもの手をとる！目を見て！短い言葉で！**

コツその1『お願い作戦！』 子どもが言うことを聞いてくれないとき…「〇〇しなさい！」と頭ごなしに叱るのではなく、「〇〇してくれると嬉しいなあ。助かるな。」とお願いするスタンスが良いでしょう。

コツその2『方法を教えてあげましょう！』 親がして欲しくない行動をした時、つい「〇〇しちゃダメ！」と言いたくなりますよね。確かに子どもは、その時はやめます。でも、代わりにどうすれば良いのか分からないまま。そして、また、同じことを繰り返します。そんな時は、「〇〇しちゃダメ！」より「〇〇しようね」が効果的！！

コツその3『子どもに分かる言葉で伝えましょう！』 子どもに伝えようと思ったら、具体的に！例えば、「静かに」より、「小さい声で話そうね」「忍者みたいに歩けるかな？」など。イメージしやすい、具体的な言葉を使うように意識してみると良いでしょう。

コツその4『ありがとうは最高のほめ言葉！』 少しでも行動に移してくれた時は、どんな小さなことでも、すかさず「ありがとう！」この言葉がとっても大事！！